

平成18年3月22日

報道関係者各位

三菱ウェルファーマ株式会社
MPテクノファーマ株式会社
中外製薬株式会社

MPテクノファーマと中外製薬との 医療用医薬品4製品の製造委受託に関するお知らせ

三菱ウェルファーマ株式会社〔本社：大阪市中央区／社長：小峰健嗣〕（以下、三菱ウェルファーマ）の100%連結子会社であるMPテクノファーマ株式会社〔本社：大阪市中央区／社長：久富幸次郎〕（以下、MPテクノファーマ）と、中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／社長：永山 治〕（以下、中外製薬）はこの度、医療用医薬品4製品（7品目）の製造委受託を行うこととなり、本日より、最初の委受託製品となる活性型ビタミンD₃製剤「ロカルトロール[®]カプセル」の取引を開始したことをお知らせいたします。

MPテクノファーマは、平成17年4月、三菱ウェルファーマの生産・技術部門の最適化の一環として、生産体制の一層の効率化により同社への製品供給の安定化と品質の向上を図るとともに、同年実施された改正薬事法の施行に合わせ、グループ内外からの製剤製造受託を行うことを目的として、同社足利工場（栃木県足利市）と吉富工場（福岡県吉富町）を分社化し設立され、以降、受託品獲得のための営業活動を強力に推進してきました。

今般、中外製薬との間で製造委受託を開始する製品は、「ロカルトロール[®]カプセル」の他、持続性ACE阻害剤「インヒベース[®]錠」、パーキンソニズム治療剤「マドパー[®]錠」および5-HT₃受容体拮抗型制吐剤「カイトリル[®]細粒」の4製品です。

MPテクノファーマは、今後とも確かな生産技術力・品質保証力を基礎にした製剤開発などの提案および提供により、お客様からの信頼を獲得し、製剤製造受託企業としての競争力を高め、高品質な医薬品の受託製造を通じて「技術サービス型製剤製造受託会社」としてより一層の企業価値の向上に努めるとともに、人々の「健やかでいきいきと輝く生活」に貢献していきます。

中外製薬は、中期経営計画「Sunrise 2010」の最重要課題のひとつとして、中外グループとしての製造技術の向上とコスト効率を追及し、その価値を最大化することを掲げています。

具体的には、国内の4工場を会社分割した上でさらに2工場に集約するなど、一層の経営資源を集中させることとしています。

今回のMPテクノファーマへの製造委託は、この工場集約化計画の一環として自社製造の絞込みを検討する中で、鎌倉工場（神奈川県鎌倉市）で製造している上記4製品を対象に行つたものです。

以上

【ご参考：委受託製品】

活性型ビタミンD₃製剤「ロカルトロール[®]カプセル0.25」

活性型ビタミンD₃製剤「ロカルトロール[®]カプセル0.5」

持続性ACE阻害剤「インヒベース[®]錠0.25」

持続性ACE阻害剤「インヒベース[®]錠0.5」

持続性ACE阻害剤「インヒベース[®]錠1」

パーキンソニズム治療剤「マドパー[®]錠」

5-HT₃受容体拮抗型制吐剤「カイトリル[®]細粒」

—本件に関するお問い合わせ—

三菱ウェルファーマ株式会社 広報・IR部

TEL : 06-6201-1696

中外製薬株式会社 広報IR部

TEL : 03-3273-0881